

自転車ドロボウ検挙に向けた活動結果

兵庫県警察では、11月に「県民の安全を守る現場執行力強化月間」を行い、当署においては、地域の方々の身近な犯罪の抑止と検挙を目的とした活動に取り組みました。当署の刑法犯認知件数は、本年10月末現在3,284件で、このうち最も多く被害に遭っているのが乗物盗(オートバイ53件、自転車680件)であります。当署では被害の多い自転車盗の抑止と検挙に重点を置き、駅周辺やマンション、集合住宅、大型商業施設の駐輪場等における防犯指導や職務質問を実施し、交番やパトカーの警察官が昼夜を問わず街頭活動に奮闘して職務質問により多数の事件を検挙し、被害者に自転車を還付しました。

自転車の被害状況

	施錠あり	施錠無し	合計
H27年10月	215	465	680
H26年末	390	819	1,209



必ず鍵を掛けましょう！
できればツーロック



自転車盗検挙状況

職務質問による自転車盗検挙の月平均は8件ですが、11月は3.5倍増の28件を検挙し、盗品発見は月平均より3.7倍増の84台の盗難自転車を発見して、被害者に還付しました。

	検挙数	盗品発見
H27年11月中	28	84
H27年1月～10月	83	306
H26年末	116	727

※ 検挙数には、自転車盗、占有離脱物横領を含む
盗品発見とは、放置されている盗難自転車を発見し被害者に還付したものを。

職務質問にご協力を

師走を迎え、地域の方々の安全安心な暮らしを守ることを最重点に、加古川警察署においては、年末特別警戒を行っております。被害発生は、昨年と比べて減少していますが、女性や子どもを狙った犯罪や住宅への侵入犯罪など、まだまだ体感治安は合格点には達しておりません。特に12月には、金融機関やコンビニを狙った強盗事件など、凶悪な犯罪発生が懸念され、署員一丸となって警戒を強化しパトロールにつとめております。また今後も、地域の方々の身近な犯罪の抑止と検挙に向けて、街頭活動に奮起しますので、職務質問には、より一層のご協力をお願いいたします。

